

令和6年度 授業改善推進プラン 社会科

	観点別		
学年	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
3年	・区内の特色ある地域の様子、四方位や地図記号、地域で働く人の様子や安全を守るための人々の働き、区内の昔から今までの変化について、具体的な理解を図る。 ・教科書・副読本などの文章や写真、映像、社会科見学で調べたことなどを有効に使い、地域の特色や昔と今の違い、地域で働く人たちの様子や安全を守るための人々の働きについて調べさせる。	・見学・調査を通して調べたことを、絵地図や新聞などに表現するとともに、地域の特色や人々の様子、働く人たちの工夫や努力について、調べたことをもとに考えたことを文章でまとめ表現する機会を多くもつ。 ・地図やグラフなどの資料から分かることを伝え合ったり、各自がノートに書いたりする機会を多くもつ。	・大田区の様子、身近な産業の様子、人々の安全を守る働き、大田区の昔から今への変化に関心をもち、社会科の学習に意欲的に取り組むことができるよう、生活科との関連を意識した授業の構成を行う。 ・タブレットPC「まなびポケット」「オクリンクプラス」を有効活用し、提示した資料の読み取りを各自ができ、自分と友達の活動や考えを相互に閲覧できるようにすることにより、主体的に取り組む態度を育む。
4年	・東京23区や都道府県の名称、地図の読み方など、基本的な事項についての理解を図る。 ・地域社会で働く人の様子や東京都の特色について理解させる。 ・教科書・副読本などの文章や写真、映像、社会科見学で調べたことなどを有効に使い、特色や違いを読み取ることができるようにしていく。 ・地図帳を効果的に活用し、都内の地形の特色について読み取る機会を多くもたせる。	・資料や映像、見学を通して調べたことを文章でまとめるとともに、地域の特色や人々の様子について調べて分かったこと、そこから考えたことを文章で表現させる。 ・学習したことを、自分の生活にはどのように生かすことができるかという見方を高めていく。 ・ICTを活用し、児童の考えを相互に共有することで、自分の考えを発展させていく。	・人々の健康と安全を守る働き、東京都の概要と特色ある地域の様子について、資料やデジタル教材、見学を通して児童が関心をもち、すすんで調べることができるよう、教材提示や発問の工夫など、指導の充実を図る。 ・地図教科書会社が提供しているサイトを活用し、都道府県を学ぶ方法を自らが選んだり、地図に慣れ親んだりして意欲を高める。
5年	・各単元ごとにおさえるべき用語を使って学習内容をまとめる活動を行うことで、知識を確実に定着するようにさせる。また、用語や資料を活用して、日本の国土や産業に対する理解を深めさせる。 ・地図帳を活用し、方位や地図記号、都道府県名などの確かな定着を図る。 ・主題図や統計資料、各種のグラフを見てそこからいえることを考える機会を授業で多く設定し、資料を正確に読み取る力をつける。 ・地図帳を授業内で活用する機会を多くもち、世界の主な国と大陸・海洋、日本の工業地帯などをおさえる。	・調べたことをもとに、日本の国土と産業の様子について、その特色や課題、わたしたちのくらしとのかわりについて、考えたことをノートや新聞などに表現させる。 ・ICTを活用し、児童の考えを相互に共有することで、自分の考えを発展させていく。	・日本の国土と産業の様子について、身近な事例や具体物をもとに考えさせ、わたしたちのくらしとのつながりについて自分の考えをもたせる指導を行う。 ・正解のない問いを設定し、議論しながら考え、表現する活動を取り入れることで、視野を広げ、社会の問題を自分事として捉えられるようにする。
6年	・知識・技能において理解の程度に差が出ている。したがって各単元で知識として定着させるべき事項は、学習の中で触れる機会を多くしていく必要がある。具体的には、フラッシュカードや歴史カルタ、年号の歌を学習の初めの時間に帯として入れ、知識の定着を図る。 ・資料を読み取る技能に課題が見られる。地図やグラフ、年表などの資料について地域差、量の変化、時間の経過などに着目しながら正確に読み取る活動を多く取り入れていく。具体的には、教科書に書かれている内容を表している資料を探させるなどの活動を授業で多く取り扱う。	・資料を基に正答を判断したり、その社会的事象の特徴を表現したりすることにことに課題が見られる。このことから意図的に資料を読み取る時間を設けるとともに読み取ったことをもとに表現する学習活動も行う必要がある。具体的には、資料を用いた新聞づくりやプレゼン資料作りを授業で行う。	・わたしたちのくらしと政治の働き、日本の歴史とわたしたちの生活とのつながり、国際社会における日本の役割について、学習したことを基に自分の考えをまとめる時間を設定する。 ・政治や歴史で日常生活とつながりを取り上げ、身近な話題に展開できるように授業を組み立てる。